

摂食・嚥下委員会

委員長 細見直永

代表 尾知美穂

活動内容

摂食嚥下に対する知識・技術の理解が深まり、個別の状態に応じた安全なケアが提供できることを目標に委員会活動を行っています。毎月第4火曜日を委員会活動日とし、定例会議を実施しています。定例会議はコアメンバーで会議を開催し、各委員に議事録で報告を行っています。各スタッフは部署の課題、取り組み内容を毎月活動報告として報告しています。

委員会の(コアメンバー)の参加率については 85%、各メンバーの活動報告の提出率は 60%で、委員に意識の差がみられている現状です。次年度は、活動報告の内容の充実を図り、委員としての自覚を持って活動し、100%の提出率を目指し取り組みを行いたいと考えています。

具体的活動計画として①委員の育成、②OJT/新人教育、③嚥下フローチャート電子化としました。①摂食嚥下委員会通信「もぐもぐごっくん通信」を輪番制にして発行。ロリハ認定講座開催指導スタッフ育成。自部署の現状把握と摂食嚥下に関する問題を抽出し、活動報告を毎月提出。②月1回病棟ラウンドを行い、摂食嚥下機能評価、嚥下フローチャートの活用状況、食事の姿勢確認、口腔内の状態、口腔ケア物品、義歯確認、窒息歴、窒息予防の取り組みを確認し病棟スタッフと振り返りを行い、情報共有を行っています。

新人看護師に対し口腔ケア実技チェックリストを用いて指導実施、口腔ケア物品の選択やケア時の正しい姿勢をふまえて口腔ケアができるように周知しています。

ロリハ認定講座開催では、脳卒中認定看護師、歯科衛生士、言語聴覚士、認定講座を修了した看護師が講師となり、今年度20名が認定講座を受講修了しています。

医療安全委員会と協働して「医療安全ニュース」を発行。口腔ケア保湿ジェル使用による窒息事例、当院で使用されている口腔ケア物品について紹介を行いました。

③摂食嚥下フローチャートの電子化に向け、現在検討中で次年度電子化移行を目指します。

実施内容

嚥下内視鏡検査は31件、嚥下造影検査は30件実施。

院内通信「もぐもぐごっくん通信」を発行。委員スタッフの持ち回り制を継続し、それぞれの立場で摂食嚥下に関わることを発信しました。

病棟ラウンドは、救命病棟、7A、6B、北3に訪問。

また、全部署対象に口腔ケア保湿ジェルについて調査を行いました。



次年度の課題

嚥下機能評価フローチャートを使用して摂食嚥下機能評価が安全に評価できるよう、電子化へ移行を行う。病棟ラウンドを通して、フローチャートの活用について周知を行う。

また、窒息歴、誤嚥・窒息のリスクのある患者を把握して、タイムリーに評価して適切な対策をたて、誤嚥・窒息を未然に防ぐことができ、安全な環境で食事摂取ができるよう取り組みを行いたいと考えています。